

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	受け入れ態勢整備事業		担当課 【2】	商工観光課						
			評価者(担当者)	和田 耕一						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり						重点 施策【4】 <input type="checkbox"/> 該当		
	主要施策(節)	(5)観光の振興								
	施策区分	(4)観光資源の魅力創出								
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> その他の計画【]		年度予定	:	金額	千円【				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務									
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【]		款	7	項	1	目	4	細目	5

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又は ニーズがあるのか) 【8】	多種多様な観光ニーズに対応するため、市民、観光関係団体、行政が一体となって受け入れ態勢の整備を行う必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民、観光客
意図(どのような状態に したいのか) 【10】	観光客の利便性を高めることにより、リピーターの増加を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【]
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【]
事務事業の具体的内容 【14】	玉名を訪れる観光客を受入れるために、案内板の適宜設置、観光ガイドの発掘育成や各観光関連事業者スタッフの接遇及びおもてなし力向上を図るために、玉名観光協会、玉名温泉観光旅館協同組合等に対して補助金交付や人的な支援を行う。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 玉名観光協会事業 ② 玉名温泉活性化事業 ③ 玉名観光ガイドの会事業 ④ 荒・玉地域サイン事業 ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画	
投入 コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%				
		県支出金	- %	3,100			
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源		13,260	12,607	15,403	16,942
	【16】 小 計		16,360	12,607	15,403	16,942	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
	職人 員件 の費	職員人工数	0.64	0.40	0.95	0.95	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,685	5,610	5,610	5,610	
【17】 小 計		3,642	2,276	5,406	5,406		
合 計		20,002	14,883	20,809	22,348		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 玉名観光協会事業	補助金交付・人的支援を実施することにより観光振興を図る。	イベント開催回数	回	3	3	3	3
② 玉名温泉活性化事業	補助金交付・人的支援によるイベント実施や環境整備	イベント開催回数	回	15	18	15	15
③ 玉名観光ガイドの会事業	勉強会に参加したり、観光情報を提供したりする。	会議出席回数	回	12	12	12	12
④ 荒・玉地域サイン事業	補助金交付による案内板等整備	案内板設置及び修繕箇所	箇所	0	0	0	0
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 観光協会会員数	団体及び個人会員数	団体	40	40	40	50
			38	36	45	
2 温泉旅館宿泊者数	温泉旅館宿泊者数	人	100,000	100,000	100,000	103,000
			109,923	102,152	103,176	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	観光客の増加に支障をきたす。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	H26年4月に玉名観光協会が任意団体から一般財団法人に移行することで、観光振興の核となる主体的推進母体としての位置づけが可能となるため、観光客を受け入れる側のおもてなしの心を醸成する研修やセミナーを開催するといった人材の育成が必要と考える。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	<p>今後は、体験観光など旅行形態の変化に対応した受入態勢の整備を推進するとともに、国も力を入れている海外からのインバウンドにも取り組んでいく必要がある。そのためには、多国語に対応したサイン計画と多国語に精通した人の配置も必要であるが、まずは観光客を受け入れる側のおもてなしの心を醸成する研修やセミナーを開催するといった人材の育成が必要と考える。また、市民に愛される「玉名温泉」となる事業を玉名温泉観光旅館協同組合と観光協会と市で検討していきたい。</p>
昨年からの見直し・改善状況【32】	<p>H25年度に「玉名観光戦略会議」を設置して、H26の春夏号観光パンフの内容案を検討した。玉名市観光振興計画の戦略アクションプラン21を着実に遂行していく体制づくりと観光客の滞在時間を延ばしていくための着地型旅行商品の開発を観光関係従事者と推進していくこととした。</p>

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	<p>県内外からの観光客の増加を図るため、市民・市内団体の観光関係事業所への支援を行う。</p>	評価責任者
		平野 博幸